

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
人間福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	夜・通信		10	7	17	13	
	社会福祉学科 介護福祉専攻	夜・通信			10	20	13	
	共生社会学科	夜・通信			6	16	13	
子ども未来学部	子ども未来学科	夜・通信				16	16	13
人間科学部	心理学科	夜・通信			18	18	13	
(備考) ・人間福祉学部は、令和3年度および令和元年度に教育課程の変更を行ったため、令和4年度においては、1、2年生には令和3年度入学者以降の教育課程を、3、4年生には令和元年度から令和2年度の教育課程を適用し計上。 ・「心理福祉学科」は、令和5年度入学生から「共生社会学科」に名称変更した。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内の「実務経験のある教員による授業科目一覧」にて公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

○理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内の「役員一覧」にて公表する。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
---

○学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 会社員	2021.6.1～ 2026.5.31	社会連携等
非常勤	株式会社 代表取締役 他法人 役員	2021.6.1～ 2026.5.31	管財に関する助言・ 指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの記載項目は、「授業方法」、「授業の概要」、「授業計画及び事前・事後学修」、「到達目標」、「評価方法及び評価基準」等となっており、当該授業で学生が自身の資質・能力の向上のために何をどのように学ぶことが期待されているのか、その結果何ができるようになるのかを説明している。</p> <p>また、上記に加え、授業期間を通じて課される課題(試験やレポート等)の内容や課題に対するフィードバック(講評の方法等)、履修上のルール、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業である場合はその旨を記載することとしている。</p> <p>なお、実務経験のある教員がその実務経験を生かし実践的教育を行っている授業科目や主として実践的教育から構成される実習等の授業科目については、その旨を記載している。</p> <p>各授業科目のシラバスの作成に際しては、卒業認定・学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力と当該科目との関係性を示し、各種資格取得に係る授業科目については、教育に含むべき内容を反映させることに留意することとしている。</p> <p>上記、シラバスの作成にあたっては、前年度12月にシラバス作成方法に関するFD・SD研修会を実施した上で各科目担当者に執筆依頼を行っている。執筆後は、学部長・学科長、教務委員会、教職課程委員会、FD・SD委員会等で記載内容の点検作業を実施し、不備が認められる場合には科目担当者に修正を依頼している。これらを経て、前年度3月下旬にシラバスを公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページの下記アドレス内の「開設科目シラバス(学部)」において、シラバス検索システムを通じて公表している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則において、授業科目を履修しその試験に合格した者は所定の単位を与えると定め、試験の方法については、試験規程において、筆記、口述または実技もしくはレポートによると定めている。また、成績評価の点数区分及び単位認定に係る合否の判定に関しては、履修規程において成績評価及び合否判定の区分を明確に規定している。この単位認定基準は新年度のオリエンテーションを通じて全学生に説明して周知している。</p> <p>また、各授業科目の到達目標を踏まえた成績評価基準については、すべてのシラバスにおいて成績評価の方法とともに明示し、履修学生に対し各科目担当教員が授業開始時にその説明を行っている。</p> <p>その上で科目担当教員は、単位認定基準及び授業科目ごとの成績評価基準に基づいて厳格かつ適正に成績を評価し、単位の認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【成績評価における客観的な指標】

本学では、学生の学修状況に関する総合的な評価を示すため、履修科目の成績評価を点数化するGPA（グレード・ポイント・アベレージ）を採用している。

各評価のポイント及びGPAの算出方法等は次のとおりである。

① 各評価のポイント	成績評価	ポイント
	S	4点
	A	3点
	B	2点
	C	1点
	D	0点

② GPAの算出方法

履修科目の成績評価に対するポイントに当該科目の単位数を乗じてグレード・ポイントを算出し、その数値の合計を総履修単位数で除してグレード・ポイント・アベレージを算出する（小数点第3位以下四捨五入）。

- ・GPAは、前期及び後期の各学期末に算出し、成績通知の際に表示する。
- ・GPAの算出に当たり、単位認定科目及び「卒業研究」並びに卒業要件単位数に含まれない科目の単位は除外する。

③利用方法

- ・GPAは、「専門演習」及び「ゼミナール」の配属並びに奨学金、優秀学生等の選抜その他学長が必要と認める場合において、その数値を参考とする。
- ・GPA3.2以上の学生は履修上限単位数を緩和する。
- ・当年度のGPAが1.2未満で、かつ、年次ごとの総修得単位数が30単位未満、当年度履修科目の授業出席率が平均40%未満の場合は、当該学生に対し段階的に注意、指導を行い、なお学修状況の改善が見られない時は、退学等の勧告を行うことがある。

【成績の分布状況の把握】

成績評価の客観的、総合的な指標として利用しているGPAについては、成績通知の際に表示するのみならず、学生が自己の成績の相対的な位置を知るために、成績の分布状況をグラフや表等を用いて開示し、学修成果を把握させるとともに、学修活動の改善・向上を促している。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

本学ホームページの下記アドレス内に「2014-2018年度入学者用 履修要項」「2019年度入学者用 履修要項（人間福祉学部2021年度入学者を除く）」「2021年度以降入学者用 履修要項（人間福祉学部のみ）」を掲載しており、「GPAについて」「履修規程」の各ページにおいて公表している。  
<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、学則に定める各学部学科及び専攻における教育研究上の目的及び人材養成に関する目的に基づいて卒業認定・学位授与の方針を策定し、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力（課程修了時の資質・能力）を具体的に示している。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針とともに一体的に運用し、本学のホームページを通じて公表しているほか、毎年度在学生に配付する「履修要項」に掲載し、教育課程編成・実施の方針との関係性も示して周知を図っている。</p> <p>なお、学則及び学位規程において卒業認定基準、学位授与の要件を適切に定め、卒業認定・学位授与の方針に基づいて厳正に適用した上で、教授会における審議を経て学長が卒業を認定し、学位を授与している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学 3 方針」にて卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を公表している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の開示(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

○財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
財産目録	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
事業報告書	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の事業報告」を公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
監事による監査報告(書)	本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の財務情報」で公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>

○事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
<a href="https://">https://</a>	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
<a href="https://">https://</a>	

(教育活動に係る情報)

○自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページの下記アドレス内の「各年度の自己点検評価書」を公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>
---

○認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 財団法人日本高等教育評価機構のホームページの下記アドレス内の「令和元年度大学機関別認証評価 評価報告書」を公表している。 <a href="https://www.jihee.or.jp/kikanbetsu/2019/09denen_chofu_university.pdf">https://www.jihee.or.jp/kikanbetsu/2019/09denen_chofu_university.pdf</a>
---

○学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間福祉学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学学則」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学学則第 1 条第 2 項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 人間福祉学部社会福祉学科社会福祉専攻は、人の一生を通じた多様な福祉ニーズに対応するために、一人ひとりの尊厳を尊重し、高い専門性を身につけた福祉の人材を養成することを目的とする。 人間福祉学部社会福祉学科介護福祉専攻は、介護を必要としている人の尊厳を保ち、生活を総合的に支援するために、専門的な知識と技術を合わせ持つ福祉の人材を養成することを目的とする。 人間福祉学部共生社会学科は、人の一生を通じた多様な福祉ニーズに対応するために、心理と福祉の専門知識を活用して、福祉現場や教育現場において貢献できる人材を養成することを目的とする。 ※「心理福祉学科」は、令和 5 年度入学生から「共生社会学科」に名称変更した。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学 3 方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学 3 方針のうちディプロマポリシーに次のとおり記載している。 人間福祉学部社会福祉学科では、建学の精神に基づき、人間理解を基礎として、共感性をもったコミュニケーションを通じて支援対象の課題を把握し、その課題解決に向け計画的に他者と連携・協働しながら課題解決を行い、誰もが安心して暮らせる社会の幸福を追求する高い専門性と福祉マインドを身につけた専門職の養成を目的としている。そのため、専攻ごとに掲げる課程修了時の資質・能力を身につけ、要件単位を修得した者について卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。 人間福祉学部共生社会学科では、建学の精神に基づき、人の一生を通じた多様な福祉ニーズに対応するために、心理と福祉の専門知識を活用して、福祉現場や教育現場において貢献できる人材を養成することを目的とする。そのため、別に掲げる課程修了時の資質・能力を獲得し、要件単位を修得した者について卒業を認定し、学位（学士「社会福祉学」）を授与する。 ※「心理福祉学科」は、令和 5 年度入学生から「共生社会学科」に名称変更した。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学 3 方針」にて公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学 3 方針のうちカリキュラムポリシーに次のとおり記載している。 人間福祉学部社会福祉学科における教育課程は、大きく総合教育科目と専門科目に区分し、それぞれを構成する授業科目は、学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。また、相互に有機的な関連性、履修の順序性をもたせることで、教育課程全体として体系的な編成を確保し、別に示す学修内容、学修方法、学修過程及び学修評価の方法により実施する。 人間福祉学部共生社会学科における教育課程は、大きく総合教育科目と専門科目に区分し、それぞれを構成する授業科目は、学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。また、相互に有機的な関連性、履修の順序性をもたせることで、教育課程全体として体系的な編成を確保し、別に示す学修内容、学修方法、学修過程及び学修評価の方法により実施する。 ※「心理福祉学科」は、令和 5 年度入学生から「共生社会学科」に名称変更した。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学 3 方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )

(概要) 田園調布学園大学3方針のうちアドミッションポリシーに次のとおり記載している。  
本学は、建学の精神である「捨我精進」に基づき、柔軟な思考と行動力のある人間性の豊かな人材を育成したいと考えています。人間福祉学部では、建学の精神に沿って、次のような興味・関心・問題意識を持ち、将来、地域社会・国際社会に貢献できる学生の入学を期待します。福祉や教育分野に興味・関心を持ち、さまざまな生きづらさや生活課題を抱える人たちを支援することで、広く社会に貢献したいと考える学生。

学部等名 子ども未来学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> ）
(概要) 田園調布学園大学学則第1条第2項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 子ども未来学部子ども未来学科は、子どもの最善の利益を守るために、子どもと社会について深く考え実践することのできる高い専門性を身につけた保育者を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> ）
(概要) 田園調布学園大学3方針のうちディプロマポリシーに次のとおり記載している。 子ども未来学部子ども未来学科では、建学の精神に基づき、社会の未来としてかけがえない子どもたちが、現在をよりよく生き、未来を幸せに生きていく力を育むために、家庭や地域社会、他領域の専門家、行政と連携、協力して「子どもの最善の利益」を守り、子どもと社会の未来について深く思考しながら行動できる専門性の高い保育者の養成を目的としている。そのため、別に掲げる課程修了時の資質・能力を獲得し、要件単位を修得したものについて卒業を認定し、学位（学士「保育学」）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> ）
(概要) 田園調布学園大学3方針のうちカリキュラムポリシーに次のとおり記載している。 子ども未来学部子ども未来学科における教育課程は、大きく総合教育科目と専門科目に区分し、それぞれを構成する授業科目は、学位授与方針に基づく課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。3年次には保育者としての専門性を多様な切り口から追究するため、子ども未来コース、子どもアート表現コース、子どもスポーツ健康コースの三つのコースを設置し、専門科目内にコース選択科目を配置する。授業科目に関しては、相互に有機的な関連性、履修の順序性をもたせることで、教育課程全体として体系的な編成を確保し、別に示す学修内容、学修方法、学修過程及び学修評価の方法により実施する。



入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。  
<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html> )

(概要) 田園調布学園大学3方針のうちアドミッションポリシーに次のとおり記載している。  
本学は、建学の精神である「捨我精進」に基づき、柔軟な思考と行動力のある人間性の豊かな人材を育成したいと考えています。子ども未来学部では、建学の精神に沿って、次のような興味・関心・問題意識を持ち、将来、地域社会・国際社会に貢献できる学生の入学を期待します。保育及び子ども関連分野に興味・関心を持ち、子どもの未来のために、豊かな心をもって保育・子育て支援に貢献したいと考える学生。

学部等名 人間科学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学学則」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学学則第1条第2項にて、次のように教育研究上の目的を定めている。 人間科学部心理学科は、多様な人々が共生するうえで生じる課題に対して、心理学の知識と技法に基づく支援を行い、共生社会の実現に寄与する人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学3方針のうちディプロマポリシーに次のとおり記載している。 人間科学部は「共生に向けて取り組む多様、多元な個人や集団の特徴や共生実現に関わる課題、およびその解決に関わる様々な知見や技術を、人間行動や思考、協力や協働といった広汎な観点から人間科学的に探求」する。心理学科では「障がい者、高齢者、子どもやメンタルヘルス不調者を中心として、多様・多元な人々が共生するうえで生じる様々な心理的困難や課題の探求、解決および心理支援をおこない、さらに人々のメンタルヘルス維持・増進や、心理支援者である自らの資質向上のために生涯学習を活用できる人材」養成を行う。そのため、別に掲げる課程修了時の資質・能力を獲得し、要件単位を修得した者について卒業を認定し、学位（学士「心理学」）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )
(概要) 田園調布学園大学3方針のうちカリキュラムポリシーに次のとおり記載している。 人間科学部における人間共生の理念を踏まえ、心理学科は心理支援に有益な心理学の知識と技法を学修するとともに、心理支援者としての資質向上と、人々のメンタルヘルス維持・向上に生涯学習を役立てる。教育課程は、大きく総合教育科目と専門科目に区分し、それぞれを構成する授業科目は、学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力の獲得を担保するため、学修領域ごとに系統性をもって過不足なく配置する。また、相互に有機的な関連性、履修の順序性をもたせることで、教育課程全体として体系的な編成を確保し、別に示す学修内容、学修方法、学修課程及び学修評価の方法により実施する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「田園調布学園大学3方針」に掲載している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a> )

(概要) 田園調布学園大学3方針のうちアドミッションポリシーに次のとおり記載している。  
 本学は、建学の精神である「捨我精進」に基づき、柔軟な思考と行動力のある人間性の豊かな人材を育成したいと考えています。人間科学部では、建学の精神に沿って、次のような興味・関心・問題意識を持ち、将来、地域社会・国際社会に貢献できる学生の入学を期待します。人間の共生に向けた人々の心の支援や生涯学習に関心を持ち、心理学に基づいてこれらに貢献、実践したいと考える学生。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「学部・学科構成」にて公表している。  
<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
人間福祉学部	—	17人	12人	1人	1人	0人	31人
子ども未来学部	—	6人	6人	1人	3人	0人	16人
人間科学部	—	5人	4人	0人	1人	0人	9人
計	3人	28人	22人	2人	5人	0人	57人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				87人			87人
各教員の有する学位及び業績（教員データベース）	公表方法：本学ホームページの下記アドレス内の「教員紹介」にて学科ごとに公表している。 <a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a>						
c. FD（ファカルティ・デベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間福祉学部	160人	169人	105.6%	670人	670人	100.0%	30人	2人
子ども未来学部	100人	69人	69%	400人	300人	75.0%	0人	0人
人間科学部	40人	51人	127.5%	170人	181人	106.5%	10人	1人
合計	300人	289人	96.3%	1240人	1151人	92.8%	40人	3人

(備考)

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間福祉学部	185人 (100%)	1人 (0.5%)	161人 (87.0%)	23人 (12.5%)
子ども未来学部	96人 (100%)	1人 (1.0%)	92人 (95.8%)	3人 (3.1%)
人間科学部	28人 (100%)	5人 (17.9%)	20人 (71.4%)	2人 (10.7%)
合計	309人 (100%)	7人 (2.7%)	273人 (88.3%)	28人 (9.0%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

【様式第2号の3より再掲】

シラバスの記載項目は、「授業の方法」、「授業の概要」、「授業計画及び事前・事後学修」、「到達目標」、「評価方法及び評価基準」等となっており、当該授業で学生が自身の資質・能力の向上のために何をどのように学ぶことが期待されているのか、その結果何ができるようになるのかを説明している。

また、上記に加え、授業期間を通じて課される課題（試験やレポート等）の内容や課題に対するフィードバック（講評の方法等）、履修上のルール、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業である場合はその旨を記載することとしている。

なお、実務経験のある教員がその実務経験を活かし実践的教育を行っている授業科目や主として実践的教育から構成される実習等の授業科目については、その旨を記載している。

各授業科目のシラバスの作成に際しては、卒業認定・学位授与の方針に基づく課程修了時の資質・能力と当該科目との関係性を示し、各種資格取得に係る授業科目については、教育に含むべき内容を反映させることに留意することとしている。

上記、シラバスの作成にあたっては、前年度12月にシラバス作成方法に関するFD・SD研修会を実施した上で各科目担当者に執筆依頼を行っている。執筆後は、学部長・学科長、教務委員会、教職課程委員会、FD・SD委員会等で記載内容の点検作業を実施し、不備が認められる場合には科目担当者に修正を依頼している。これらを経て、前年度3月下旬にシラバスを公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

【様式第2号の3より再掲】

(各授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則において、授業科目を履修しその試験に合格した者は所定の単位を与えると定め、試験の方法については、試験規程において、筆記、口述または実技もしくはレポートによると定められている。また、成績評価の点数区分及び単位認定に係る合否の判定に関しては、履修規程において成績評価及び合否判定の区分を明確に規定している。この単位認定基準は新年度のオリエンテーションを通じて全学生に説明して周知している。

また、各授業科目の到達目標を踏まえた成績評価基準については、すべてのシラバスにおいて成績評価の方法とともに明示し、履修学生に対し各科目担当教員が授業開始時にその説明を行っている。

その上で科目担当教員は、単位認定基準及び授業科目ごとの成績評価基準に基づいて厳格かつ適正に成績を評価し、単位の認定を行っている。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、学則に定める各学部学科及び専攻における教育研究上の目的及び人材養成に関する目的に基づいて卒業認定・学位授与の方針を策定し、卒業までに学生が身につけるべき資質・能力(課程修了時の資質・能力)を具体的に示している。

卒業認定・学位授与の方針は、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針とともに一体的に運用し、本学のホームページを通じて公表しているほか、毎年度在学生在に配付する「履修要項」に掲載し、教育課程編成・実施の方針との関係性も示して周知を図っている。

なお、卒業の認定、学位の授与に際しては、学則及び学位規程において卒業認定基準、学位授与の要件を適切に定め、卒業認定・学位授与の方針に基づいて厳正に適用している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間福祉学部	社会福祉学科 社会福祉専攻	124 単位	⑦・無	48 単位
	社会福祉学科 介護福祉専攻	124 単位	⑦・無	48 単位
	共生社会学科	124 単位	⑦・無	48 単位
子ども未来学部	子ども未来学科	124 単位	⑦・無	46 単位
人間科学部	心理学科	124 単位	⑦・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

本学ホームページの下記アドレスにてキャンパスマップを掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/campusmap/index.html>

本学ホームページの下記アドレスにてアクセス(交通案内)を掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/access/index.html>

本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「Campus Guide2019」の全文を公開しており、その中に各校舎の施設案内を掲載している。

<https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html>

⑧授業料、入学料その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学料	その他	備考
全学部全学科共通		700,000円	300,000円	440,000円	施設費 440,000円 2019年度以降入学生対象

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「Campus Guide2021」の全文を公開しており、その中に「学生生活の基本」や「履修の案内を掲載している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組の概要
<p>本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「Campus Guide2021」の全文を公開しており、その中に「卒業後の進路」を掲載している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組の概要
<p>本学ホームページの下記アドレス内の「修学、進路選択、心身の健康等に係る支援」に「Campus Guide2021」の全文を公開しており、その中に「健康で安全な学生生活を送るために」を掲載している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>本学のホームページの下記アドレスに教育研究上の情報を公表している。</p> <p><a href="https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html">https://www.dcu.ac.jp/overview/information/index.html</a></p>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F114310104847
学校名	田園調布学園大学
設置者名	学校法人調布学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		171人	168人	177人
内 訳	第Ⅰ区分	104人	106人	
	第Ⅱ区分	40人	41人	
	第Ⅲ区分	27人	21人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				177人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	—	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
G P A等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	22人		
計	22人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。



# 実務経験のある教員等による授業科目一覧

田園調布学園大学

## 人間福祉学部 社会福祉学科 社会福祉専攻

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。 本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市の子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	6	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等にあたり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
精神保健福祉援助実習I	3	2	精神保健福祉士に必要な資質、技能、倫理をもち、クライアントの課題に対して総合的に対応できる能力を身につけるため、地域の施設・機関等の現場において、実習指導者の指導のもと、精神障害者の置かれている現状を理解し、生活上の課題やニーズをアセスメントし支援を考える。
精神保健福祉援助実習II	3	2	精神保健福祉士に必要な資質、技能、倫理をもち、クライアントの課題に対して総合的に対応できる能力を身につけるため、精神科医療機関の現場において、実習指導者の指導のもと、精神障害者の置かれている現状を理解し、生活上の課題やニーズをアセスメントし支援を考える。
医療ソーシャルワーク実習	4	1	医療ソーシャルワーカーに必要な能力を身につけるため、医療機関等の臨床現場において、実習指導者の指導のもと、約2週間の実習を行う。面接の同席やカンファレンスの出席を通じて、多様なケースのアセスメントやプランニングを行う。なお、元医療ソーシャルワーカーの教員がその現場経験を生かし、実習が現実的かつ学生のキャリア教育になるよう巡回指導を行う。
スクールソーシャルワーク実習	4	2	児童福祉と学校教育が同根異種であることを確認しながら、その連携・協働を促進し得るアプローチについて、実際に職務に従事するスクールソーシャルワーカーの実習指導のもと、教育現場におけるソーシャルワークの実習を行う。

合計 17 単位

# 実務経験のある教員等による授業科目一覧

田園調布学園大学

## 人間福祉学部 社会福祉学科 介護福祉専攻

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。 本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市の子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	6	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等にあたり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
介護実習Ⅰ-1	1	1	障害者支援施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、基本的な生活支援を通して、対象者の状況に応じた介護技術の習得を図り、実習施設・事業所のカンファレンスに参加し、多職種役割と連携について理解する。
介護実習Ⅰ-2	1	2	介護老人保健施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、対象者本人や家族とのコミュニケーションを通じて個々の生活リズムや個性を把握し、自立に向けた支援を学び、生活支援を行う基礎的な能力を習得する。また、多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともにカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。
介護実習Ⅱ-1	2	3	介護老人福祉施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、個々の対象者の生活背景やリズムを理解し、必要な情報を収集し日常生活の課題を明確にした上で、自立支援の観点から介護計画の立案を行う。また、訪問介護事業所の介護現場において、実習指導者の指導のもと、在宅で生活する対象者の理解と訪問介護の役割・機能等について学ぶ。
介護実習Ⅱ-2	2	4	介護老人福祉施設や介護老人保健施設等の現場において、実習指導者の指導のもと、個々の対象者の生活背景や生活リズム、心身の状況などを把握した上で個性を理解し、それらをふまえてアセスメント、介護計画の立案、実施、考察、評価の一連の介護過程のプロセスを実践することにより、介護福祉士に必要な思考能力を身につける。

合計 20 単位

# 実務経験のある教員等による授業科目一覧

田園調布学園大学

人間福祉学部 共生社会学科※「心理福祉学科」は、令和5年度入学生から「共生社会学科」に名称変更した。

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
福祉マインド実践講座	1	2	これから社会福祉を広く学ぶ学生に対する具体的・実践的な「福祉マインド」を醸成するための導入教育を行い、座学と実践的なフィールドワークを織り交ぜた授業内容となっている。学内の講義では、福祉施設の職員等により、地域における福祉活動やボランティア活動の紹介を行う。 本講座の担当教員及び外部講師は、自治会活動、民生委員活動、ボランティア活動、福祉施設等によるサービス提供及びイベント企画・実施等、地域における実際の福祉活動の推進に広く関わっているため、授業ではボランティア活動に関する具体的かつ実践的な指導が行われる。
福祉行財政と福祉計画	3	2	科目担当者は長年にわたり川崎市、横浜市、相模原市などの地域福祉保健計画の策定・推進委員、相模原市の自立支援協議会委員、川崎市の子ども子育て会議の委員、東京都瑞穂町の社会福祉審議会のメンバーとして具体的な政策立案、推進、評価などに関わっている。これらの経験を生かしたわが国の福祉政策における実務上の課題や取り組みポイントについて実践経験を交えた講義を行う。
ソーシャルワーク実習	3	6	高齢者関係施設、障害者関係施設、児童関係施設、その他福祉現場の職員から直接指導を受けながら、様々な生活上の問題を抱える福祉サービスの利用者の相談等にあたり、福祉計画に基づく実践によって問題解決の過程を経験し、多様な援助のあり方を学修する。
視覚障害者指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、視覚障害教育の歴史や今日的課題を見据え、視覚障害教育のシステムや指導法等、特別支援教育時代の視覚障害教育のあり方について、実践的な内容で授業を行う。
聴覚障害者指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、聴覚障害教育の歴史や今日的意義と課題を明らかにし、実践的な内容の授業を行う。
重複障害者教育指導法	3	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、重複障害の特性と重複障害者に対する指導のあり方について、実践的、今日的な内容で授業を行う。
特別支援教育実習指導	4	1	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者が、その経験を生かし、特別支援学校の教育課程及び教育実習のあり方や障害児への指導、特に学習指導案作りについて、実践的、今日的な内容で授業を行う。
特別支援教育実習	4	2	特別支援学校教諭、特別支援学校長の経験を有する科目担当者による実習の事前・事後の指導とともに、実習を通じて指導教諭から直接指導を受けながら学校現場の現状を知り、特別支援教育の実践的知識や技術を習得する。また、教職に対する自らの適性、教師としての心構えを学び、教育実習に対する評価を踏まえ、教師としての課題を知る。

合計 16 単位

# 実務経験のある教員等による授業科目一覧

田園調布学園大学

## 子ども未来学部 子ども未来学科

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
保育マインド実践講座	1	2	保育の初学者を対象に「保育マインド」を実践的に学ぶ本講座では、保育現場における幼稚園教諭並びに福祉現場における社会福祉士としての勤務経験がある担当教員が、その実務経験を生かして、専門的知識や技術のみならず多様な視点から総合的な保育について教育を行う。
保育原理	1	2	幼稚園教育における園長等の経験がある担当教員が、その経験を生かして、保育の意義及び目的、保育に関する法令及び制度、保育所保育指針における保育の基本等に関する講義を通じて保育の原理や課題について指導する。
社会福祉概論	1	2	児童福祉施設での勤務経験や法務省の保護司としての経験を有する担当教員が、その経験を生かし、現代の社会福祉が抱える限界と可能性について、今日的な福祉課題や時事を交えつつ講義する。
幼稚園教育実習指導 I	2	1	幼児教育現場における教諭経験豊かな担当教員が、その経験を生かして具体的な保育実践の事例を示し、幼稚園での実習に必要な心構えや態度、基本的な知識・技能等、実際の幼児教育に役立つ指導を行う。
幼稚園教育実習指導 II	4	1	幼児教育現場における教諭経験豊かな担当教員が、その経験を生かして具体的な保育実践の事例を示し、子どもの実態に即した幼児教育の展開に向け、実践に役立つ記録のとり方や指導案の立案等、実際の幼児教育に役立つ指導を行う。
保育所実習指導 I	2・3	1	幼稚園教諭・保育士として保育現場での勤務経験を持つ担当教員が、その経験を生かし、保育所における保育内容の理解、実習日誌の書き方や責任実習（部分実習）の指導案の立案等、実際の現場に即した実習指導を行う。
保育所実習 I	2・3	2	保育現場で働く保育士から直接指導を受け、乳幼児への理解、保育所の機能及び保育士の職務について実践的・総合的に学ぶ実習を行う。
保育所実習 II	3・4	2	保育現場で働く保育士から直接指導を受け、観察・参加実習を行う。乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能及び保育士の職務について実践的に学び、総合的に応用する保育実践力を養い、自らの保育士像を確立していく。
保育所実習指導 II	3・4	1	幼稚園教諭・保育士として保育現場での勤務経験を持つ担当教員が、その経験を生かし、保育現場での学びをより深めるために必要な心構えや知識・技術を整理し、実習日誌の書き方や子どもの生活に即した保育の展開に向けた指導案の立案等、実際の現場で役立つ実践的な実習指導を行う。
保育・教職実践演習(幼稚園)	4	2	幼稚園教諭や福祉施設職員等の経験を有する担当教員が、その経験を生かし、子ども理解、保育内容、保育教材、保育技術、保育の環境構成、指導計画、保育者の役割と援助、担任業務と学級運営、現代社会において求められる幼稚園・保育所・施設の機能と役割等について、受講生同士の主体的な協議・検討を通じて、協働的・実践的な学修となるよう指導を行う。

合計 16 単位

実務経験のある教員等による授業科目一覧

田園調布学園大学

人間科学部 心理学科

授業科目	配当学年	単位数	授業概要
精神疾患と心理療法	2	2	臨床心理士として精神科病院で心理療法の実務経験を有する担当教員のもと、高度な心理支援技術の理解として精神疾患の治療に適応となる心理療法について学び、心理支援に関する知識の精緻化を行う。
関係行政論	2	2	行政機関において心理支援実践経験を有する教員が授業を担当し、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の各分野で心理専門職が関係する法律や制度、関係や協力する行政機関について講義を行う。
心理的アセスメント演習	2	1	臨床心理士として病院等様々な領域で心理的アセスメント実務経験を有する担当教員のもとで、面接、観察、心理検査の種類や実施法、適切な分析と報告のあり方も含めた心理アセスメントの基礎的な演習を行う。
心理学的支援法演習	2	1	臨床心理士として病院等により心理支援の実務経験を有する担当教員のもとで、基本的な個別・集団心理面接技法をはじめいくつかの具体的な支援技法を、シナリオ等を用いた模擬的演習課題として行う。
心理演習Ⅰ	2	1	臨床心理士や公認心理師として病院・行政機関・大学等での心理支援実践経験を有する担当教員のもとで、「心理実習Ⅰ」で取り組む実習領域に関連した、シナリオを用いたロールプレイ形式の演習を以下の点から行う。①実習領域で支援を要する者へのコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援など、②支援を要する者の理解とニーズ把握、支援計画作成、③支援を要する者の現実生活を踏まえたチームアプローチのあり方、特に多職種連携や地域連携についてのシミュレーション、④実習領域における公認心理師としての職務倫理と法的義務の理解と適用。なお、「心理実習Ⅰ」の事前指導も演習担当者が兼ねる。
心理演習Ⅱ	3	1	臨床心理士や公認心理師として病院・行政機関・大学等での心理支援実践経験を有する担当教員のもとで、「心理実習Ⅱ」で取り組む実習領域に関連した、シナリオを用いたロールプレイ形式の演習を以下の点から行う。①実習領域で支援を要する者へのコミュニケーション、心理検査、心理面接、地域支援など、②支援を要する者の理解とニーズ把握、支援計画作成、③支援を要する者の現実生活を踏まえたチームアプローチのあり方、特に多職種連携や地域連携についてのシミュレーション、④実習領域における公認心理師としての職務倫理と法的義務の理解と適用。なお、「心理実習Ⅱ」の事前指導も演習担当者が兼ねる。
心理実習Ⅰ	2	1	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野から、この開講期に指定された施設、機関へ見学等の実習を行い、各分野で臨床心理士もしくは公認心理師の資格を有し心理職として勤務する実習指導者、または臨床心理士もしくは公認心理師等の資格を有し心理支援の実務経験のある教員による指導を受ける。
心理実習Ⅱ	3	1	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5分野から、この開講期に指定された施設、機関へ見学等の実習を行い、各分野で臨床心理士もしくは公認心理師の資格を有し心理職として勤務する実習指導者、または臨床心理士もしくは公認心理師等の資格を有し心理支援の実務経験のある教員による指導を受ける。
表現療法の理論と実践	3	2	臨床心理士として実務経験のある担当教員のもと、ロールプレイによる表現技法である心理劇を題材として、表現療法全体に含まれる心理学的意義や機序について学び、心理支援技法としての理解を深めていく。
コンサルテーション・リエゾン活動論	3	2	臨床心理士としてコンサルテーション・リエゾンの実務経験を有する担当教員が、コンサルテーション・リエゾン活動の理論について歴史的経緯も含めて講義する。また、コンサルテーション・リエゾン活動の実際例も提示し留意点や課題についても講義する。
子どもの心理支援とペアレントトレーニング	3	2	臨床心理士としてペアレントトレーニングのプログラム立案や実施経験のある担当教員が、ペアレントトレーニングの理論と実際を講義する。また簡単な模擬プログラムも体験してもらいながら子育て支援の具体的な技法を学んでいく。
認知機能の低下・障がいと心理支援	3	2	臨床心理士としてリハビリテーション病院等で実務経験のある担当教員のもと、認知機能の低下や障がいをもたらす行為、対人態度への影響を、認知心理学や神経心理学などの理論と脳、神経、生理学的側面とを対応させながら学ぶ。また、この領域に相当する障がいや疾患を抱える人々の日常生活における心理的困難や支援について具体例をあげながら考察を深めていく。

合計 18 単位